

中央鉱山保安協議会 議事要旨

1. 日 時：平成31年2月28日（木）13：30～15：30

2. 場 所：経済産業省別館3階312会議室

3. 出席者：

（学識経験者代表）

藤田委員（会長）、笹木委員、田中委員、所委員、福井委員、松岡委員

（鉱業権者代表）

安藤委員、井上委員、佐藤委員（代理：中村氏）、下田委員、戸高委員、成井委員（代理：加藤氏）

松本委員

（鉱山労働者代表）

新谷委員、上野委員、國本委員、高畠委員、古谷委員

4. 議題：

【審議事項】

（1）鉱害防止施策の実施状況と準備金制度の見直しについて

【報告事項】

（2）第13次鉱業労働災害防止計画の実施状況について

（3）「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第5次基本方針）」に係る取組について

（4）石炭じん肺訴訟の現状について

（5）平成31年度鉱山保安関係予算案について

（6）眼の水晶体に係る放射線防護の在り方について

5. 議事概要

中央鉱山保安協議会会長の互選

- 会長の互選を行い、藤田委員が会長に選任された。

（1）鉱害防止施策の実施状況と準備金制度の見直しについて

- 事務局から、鉱害防止施策の実施状況と準備金制度の見直しについて説明。今後の見直しについて議論が行われた。

（委員からの主な意見）

- 準備金制度（税制）については、税制上の実績だけを見ると役目は終わっているように見えるかもしれないが、鉱害対応の歴史の中で議論され創られた制度であり、業界としては存続を要望する。制度の見直しについては業界としても検討を進めていきたい。
- 現在操業中の鉱山においても、今後、新たな集積場が必要になる可能性が高いので、準備金制度の維

持を強く希望する。

- 積立期間を区切って残りの必要額を積み立てる代わりに、その間の税の措置は続けさせて欲しいという要望は考えられないか。また、閉山後も別途積立ができるような制度を考えるのはどうか。

(2) 第13次鉱業労働災害防止計画の実施状況について

- 事務局から、第13次鉱業労働災害防止計画の実施状況について説明。

(委員からの主な意見)

- 保安確保・新技術の向上に向けた取組を業界団体としても実施しており、国との連携・協働による保安確保に引き続き努めていく。

(3) 「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第5次基本方針）」に係る取組について

- 事務局から、「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第5次基本方針）」に係る取組について説明。

(委員からの主な意見)

- 鉱害防止分野の調査研究を進めることは重要と考える。また、研究成果を有効に活用できる様、データ整備をお願いしたい。

(4) 石炭じん肺訴訟の現状について

- 事務局から、石炭じん肺訴訟の現状について説明。

(5) 平成31年度鉱山保安関係予算案について

- 事務局から、平成31年度鉱山保安関係予算案について説明。

(6) 眼の水晶体に係る放射線防護の在り方について

- 事務局から、眼の水晶体に係る放射線防護の在り方について説明。

問合せ先

経済産業省 産業保安グループ
鉱山・火薬類監理官付
電話：03-3501-1870
FAX：03-3501-6565